

## 【第 106 回対策本部会議】 10 月 20 日

健康福祉部長／感染者は 2 日間ゼロが続いたが、その後、数人の感染が続いている。18 日の 5 人は、家族内の感染。本日も 5 人出ているが、接触者が 4 人と感染経路不明者 1 人。

病床使用率は 3.0%、ホテル使用率は 0.8%。重症者はいない。

10 月は、ワクチン未接種、未完了の感染が多い。ワクチン未接種の 10 代～20 代の感染者で、軽症だが高熱で入院する事例が数件あった。また、ワクチン未完了者が感染し、家族全員に広がった事例もある。ほかにも、ワクチン 2 回接種後に発症した事例もある。ワクチン接種が完了していても、発症を完全に予防できないため、油断しないでほしい。

最近の事例で、詩吟など大声を発する場所での感染があった。マスク着用、換気、距離を取るなどの感染予防策の徹底をお願いする。

また、体調がよくない場合は、外出、出勤を控え、症状があれば、早めに医療機関を受診してほしい。

南里副知事／ワクチン接種が済んでいても感染が完全に防げるのではない。ワクチン接種の推奨と併せて、大きな声を出すような場面では、感染するリスクがあり注意が必要なことを、広報する必要がある。

知事／ワクチン接種は、重症化を防げる。ただ、陽性者は未接種者が多く、そこから 10 歳未満の子供たちに家族感染し、感染者数が増える場合がある。

まれにブレイクスルー感染して、本人に自覚がない場合、飛沫を飛ばし感染させることは、ワクチン接種を終えていても同じですね。

健康福祉部長／ワクチン接種の有無にかかわらず、ウイルスの量は変わらない。

知事／ワクチン接種が済んでいてもウイルスの量は変わらないので、自覚のないブレイクスルー感染者が大きな声を出すと、周囲の人は感染の可能性がある。そのため、感染予防策の徹底の必要性がある。

ワクチン接種調整チームリーダー／接種していない皆様方へ積極的な接種の検討をお願いしたい。

12 歳以上のワクチン接種は、1 回目接種率が 84.9%。市町でも予約が十分できる状態になっている。予約が取りにくかった佐賀市でも、30 を超える医療機関で空きがある。

接種率が上がっているため、今後、接種の規模は縮小されていく。集団接種は終わり、個別医療機関だけになっていく。

一方で、最近の感染者は、ほとんどがワクチン未接種者。できるだけ早く積極的に接種の検討をしてほしい。予約でお困りの方は、0952-25-7617 まで相談を。佐賀県は、ワクチン接種を最後のお1人まで進めていく。

産業政策課長／「SAGA おいし〜と食事券第2弾〜やっぱり佐賀が好き〜」は、17日現在、19万冊強を販売した。これは、全体の95%を超え、一時的に入手しづらくなっている。

そのため、23日(土)と30日(土)に各10万冊を追加販売する。また、一人当たりの購入数を10冊から5冊に減らすことで、多くの人に利用できるようにした。

第1弾の「Go To Eat 食事券」の利用期限は、10月31日。データ上、9割以上の利用を確認しているが、まだ利用していない人は今月中に利用してほしい。

文化・スポーツ交流局長／「佐賀支え愛宿泊キャンペーン第3弾」は、4月23日から開始し、現在、利用者が22万3,753人。一時停止期間を除いた約4か月で、ひと月当たり約5万人の利用があった。引き続き、秋の観光シーズンの佐賀を満喫してほしい。

このキャンペーンは、宿泊・日帰り旅行が対象で、最大5,000円の割引があり、さらに地域限定クーポン券2,000円分がもらえる。予約方法は、店舗型旅行代理やオンライン旅行代理店、宿泊施設に直接予約し、その場で申請書を記入して割引が受けられるようになっている。利用期間は、令和3年12月31日まで。ぜひ、ご利用いただきたい。

坂本副知事／佐賀のよさを県民に再確認してもらおう趣旨のキャンペーンだと思っている。先日、古湯を利用した。職員も利用してもらおうとともに、関係各所への周知をお願いする。

知事／本日、阿蘇山が噴火した。この状況を注視し、熊本県から要請があれば対応してほしい。

ここのところ、新型コロナの感染者数が数人出ている。これは、接触者がほとんど。幅広く検査をして、抑え込んでいる。

現在は、支え愛局面。500円券で使いやすくなったお食事券や宿泊キャンペーンを利用して、佐賀の仲間を応援してほしい。

感染者数が減ったとはいえ、医療現場の皆さんは日々努力をされている。また、保健所、ワクチン接種の現場の皆さんのおかげで感染者数を減らすことができ、心から感謝申し上げる。

こうした中、慈しみの大事さを県民間で共有できたと思っている。エールを送り合うことで、誹謗中傷のない世の中を作っていきたい。